

三重県人権センター 図書室 新着情報

第5号
2026年発行

三重県人権センター図書室に
新しく入った本の一部を紹介します！

人権学習に役立ててください。

また図書室では、人権に関する映像資料や
パネルの貸し出しも行っています。
研修や学習にぜひご活用ください！

三重県人権センター マスコットキャラクター「ミッコロ」



三重県人権センター図書室
Tel. 059-233-5537

開室時間 9:00～17:00

休室日 月曜日(祝日は除く)

祝日の翌日



三重県人権センター
図書室ホームページ



『「CODA」のぼくが見る世界
聴こえない親のもとに生まれて』
出版：紀伊國屋書店
著：五十嵐大

コーダ(CODA)＝聴こえない／聴こえにくい親のもとで育つ、聴こえる子ども。もし、親の耳が聴こえたらーなんて、想像もつかなかった。ときに手話を母語とし、ときにヤングケアラーと見なされて、コーダは、ろう者とも聴者とも違う複雑なアイデンティティを抱えて揺れ動く。映画『ぼくが生きて、ふたつの世界』原作者の最新エッセイ集。



『部落問題と向きあう若者たち2』
出版社：解放出版社
著：内田 龍史

部落問題と向きあっている若者たちが、どのように部落問題と出会い、どのような経験をし、今どのようなことを考えているのか、そしてどのように未来を展望しているのか。部落の若者たちのインタビュー集。



『漫画 いしぶみ
原爆が落ちてくるとき、ぼくらは空を見ていた』
出版：ポプラ社 漫画：サメ マチオ
原作：広島テレビ放送編『いしぶみ』
1945年8月6日、広島三中一年生たちの身に起きた悲劇。一人ひとりの最期を通して、原爆の実相を伝える貴重な記録を漫画化。

漫画

『マンガで考える“みんなのキモチ”
これって、いじめ？【全5巻】』
出版：小峰書店 著：藤川大祐 監修
本シリーズは、実際に起こったことを元に、小中学生がであろう様々な場面を、同調圧力、SNSなど多様なテーマのマンガで展開。



『きみの人生はきみのもの』

子どもが知っておきたい「権利」の話
出版社：NHK出版
著：谷口 真由美／荻上 チキ

心・体・お金を守る！子どもの権利の使い方
「校則を変えたい」
「いじめにあっているつらい」
「親にお年玉をどられた」…子どもが抱える24の悩みや問題を取り上げ、「権利」を紹介しながら解決への道を示す。相談先の情報も掲載し、子どもが自ら考えて行動したり、人生を切り拓いたりしていける。学校では習わないけれど、生きていくうえで重要な知恵と情報が詰まった1冊！



『女性の世界地図』

女たちの経験・現在地・これから
出版：明石書店 著：ジョニー・シーガー
訳：中澤 高志／大城 直樹／荒又 美陽
中川 秀一／三浦 尚子

世界の女性はどこでどのように活躍し抑圧され、差別され、生活しているのか。グローバル化、インターネットの発達等の現代的テーマも盛り込み、ますます洗練されたカラフルな地図とインフォグラフィックによって視覚的にあぶり出す。好評既刊『地図でみる世界の女性』の改訂版。オールカラー。



『こどもかいぎ』
出版：フレーベル館 著：北村裕花
子どもたちだって真剣に考えている！
今日の議題は「怒られたときはどうしたらいいか」ですが、話はそれでいてしまい…。

絵本

『ライオンのくのにネズミ』

出版：中央公論新社 著：さかどくみ雪
父親の転勤でライオンのくのに引っ越したねずみの家族。ライオンが怖くて仕方ないねずみだったが、あることをきっかけにライオンと対決することに。使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らはわかりあうことができるのか？

